

令和7年度福井市未来へつなげるバス路線最適化実証事業業務 公募型プロポーザル 質問及び回答

No	質問項目	質問内容	回答
1	契約総額の減額について	契約総額が減額となる場合、貴市との協議を通じて仕様項目を減らす等のご相談はいただけるとの理解で良いか。	貴見のとおりです。
2	審査委員会の開催日程について	審査委員会の開催日程は別途通知とのことだが、参加資格審査結果通知の際に併せて、日にちだけでも先にご案内することは可能か。プレゼンテーションの順番、日時は詳細確定後、企画提案書の受付順で問題ございません。	日にちについては、時間と併せて実施通知の際にご案内する予定です。
3	実施要領 3 参加資格について P1	プロポーザルに参加予定だが、いつまでに参加資格審査申請を行えばよいか。	プロポーザル参加申込書の提出期限(5月23日)までに、福井市一般業務競争入札参加資格審査申請書を提出してください。
4	実施要領 3 参加資格について P1	福井市一般業務競争入札参加資格審査申請書を提出するにあたり、実施要領に業種の指定はないが、どの業種で申請すればよいか。	業種については、指定はしておりません。本市ホームページ「入札の広場」をご覧ください、業種コード表で該当する業務で申請してください。
5	実施要領 3 参加資格について P1	入札参加資格審査申請書を提出するにあたり、一般業務競争入札だけで、物品等競争入札は不要か。	物品等競争入札は不要です。
6	実施要領 7 プロポーザル参加申込書の提出について P4	様式のうち、押印原本の提出が必要な資料はあるか。	必要な書類はございません。
7	実施要領 9 企画提案書の提出について P5	①～⑦のページ数の上限はあるか。また、両面カラー印刷での提出でよいか。	ページ数の上限はなく、両面カラー印刷での提出で構いません。
8	実施要領 9 企画提案書の提出について P5	本業務の実施スケジュールを検討するにあたり、考慮が必要な事項(例えば、オンデマンド交通実証実験の時期、活性化会議の開催時期など)がございましたら、ご教授をお願いします。	オンデマンド交通実証実験の時期については、12月から1月を想定しています。 活性化会議の開催時期については、8月、10月、1月を想定しています。
9	実施要領 9 企画提案書の提出について P5	紙媒体で提出する8部すべてに押印が必要か。	参考見積については押印したものを提出していただきますが、それ以外は押印は不要です。
10	実施要領 10 審査方法について P6	「出席者は3名以内とする。なお、共同体については、代表者及び構成員各1名以上は必ず出席すること」に関して、仮に最大3社での共同体では各社1名ずつの出席となるが、業務内容が多岐にわたるためその場合には計4名(うち1社より2名)参加することは可能か。	最大3社での共同体でも、3名以内の出席者でお願いいたします。
11	仕様書 4(2) 追加の分析について P1	「資料提出後に追加で分析が必要な地域等も想定される」、「発注者の求めに応じて対応できるようにする」とは、協議の上での対応となる内容と考えられるが、その認識でよろしいか。(資料提供等の協力依頼は複数回のやりとりが行われることは想定され、それらをもって「資料提出後」とみなすと考えますので、更にその後に作業が生じると読めるため)	受託事業者と協議の上、対応させていただきます。

令和7年度福井市未来へつなげるバス路線最適化実証事業業務 公募型プロポーザル 質問及び回答

No	質問項目	質問内容	回答
12	仕様書 4(2) データ提供許諾について P1	分析に活用する乗降データについては各事業者様が保有されていると認識しているが、本事業へのデータ提供許諾は既にとられているか。また、もし未許諾の場合は、データ提供の依頼等も含めて本業務の範囲となるのでしょうか。	①地域コミュニティバス、地域バス 日別利用者数、便別利用者数、停留所別乗車数(一部路線降車数) ②乗合タクシー 日別利用者数、便別利用者数 ③フルデマンドタクシー 日別利用者数、停留所別乗降車数 ④路線バス 日別利用者数、停留所別乗降車数 ①から③まではエクセル形式で本市から提供可能です。④については、本事業へのデータ(CSV形式)で提供許諾は得られており、別途交通事業者提供依頼を行う予定です。 また、データ提供の依頼等は本業務の範囲外でございます。
13	仕様書 4(2) システムの提供や運用について P1	モビリティデータの可視化を様々な角度から行うことになると思うが、こちらは受託事業者の方でレポートを作成する形で提供するのであり、福井市もしくは関連事業者様が自由に利用できるシステムの提供や運用は不要という認識でよいか。	本市もしくは関連事業者が自由に利用できるシステムの提供や運用は必須ではございません。
14	仕様書 4(2) 福井市における地域特性の整理、公共交通の現況分析、課題整理について P2	福井市における主要商業施設・医療機関等の情報は市から共有していただけるのか。	主要商業施設・医療機関等の情報については、データの提供も可能となっておりますので、市からも可能な限り共有いたします。
15	仕様書 4(2) データ提供について P2	人流データについては、貴市が所有するものを活用する前提で良いか。その場合、所有データの概略についてご教示いただけるのか。(所有データの基本単位(例:500mメッシュ単位等)、個人属性・移動目的・移手段等の情報の有無、ファイルの形式)	市は保有しておりません。受託事業者が、移動実態の分析に適切と思われる人流データを購入してください。 なお、データの基本単位は、250mメッシュ以下を想定していますが、分析に応じて細かいメッシュを使用しても構いません。
16	仕様書 4(2) データ提供について P2	福井市や交通事業者が保有するデータや福井市内を運行する公共交通データを活用した分析とあるが、データの取得日処は立っているか。貴市よりデータの貸与を受けて、分析を実施するという認識でよいか。データの購入費用がかかる場合は、概算の金額をご教示ください。	交通事業者が保有する路線バスに係るデータ等は、データの取得日処は立っており、別途交通事業者提供依頼を行う予定です。 また、本市から交通事業者が保有するデータと併せて提供し、分析を実施するという認識で問題ございません。 なお、金額が発生するデータの購入費用については、提案者で見積もりください。本市や交通事業者が所有する乗降データの購入費用については、無償で提供いたします。
17	仕様書 4(2) 乗降データ提供について P2	貴市、事業者保有の路線バス・地域コミュニティバス・地域バス・乗合タクシーの乗降データについて、全ての交通モードで、「利用者数、バス停別乗降者数、バス停間OD表」をご提供いただけるか。	乗降データの提供に係る回答については、No.12と同様です。
18	仕様書 4(3) アンケート調査の実施について P2	調査票の作成・印刷、アンケート発送・回収は受注者負担のため、積算のために想定されているサンプル数を教えていただくことは可能か。	業務を踏まえた上での選定となりますが、4,000部程度を想定しています。
19	仕様書 4(3) アンケート配布対象について P2	アンケートの配布対象は、「実証実験選定地区」に居住し、65歳以上または18歳以下がいる全世帯との認識でよろしいか。	ご認識のとおりです。
20	仕様書 4(4)③ 実証実験選定地域でのワークショップの実施について P3	開催に必要な資材機材等を受注者が準備するため、積算のために想定されている地区数(または総開催回数)をご提示いただくことは可能か。	開催回数は6回程度を想定しています。ただし、仕様書(2)にある業務結果を分析した上で、オンデマンド交通実証実験導入地区の選定を行うこととありますので、協議の上、変更となる場合もございます。

令和7年度福井市未来へつなげるバス路線最適化実証事業業務 公募型プロポーザル 質問及び回答

No	質問項目	質問内容	回答
21	仕様書 4(4)④ 実証実験選定地域での ワークショップの実施につ いて P3	「市が開催すべきと判断した場合には③と同様の ワークショップ実施にも対応」とあるが、実施の場合 は設計変更(増額)となる認識でよいか。または、協 議の上でワークショップを実施するという認識で良 いか。	協議の上でワークショップを実施する予定でござい ます。
22	仕様書 4(5) 福井市における地域公共 交通網再編案の提案につ いて P3	実証実験地域だけではなく、市全域の再編案という 認識で合っているか。その際に、仕様書4(3)(4)と 並行して再編案の策定作業を行って問題ないか。	ご認識のとおりです。 仕様書4(3)(4)と並行して再編案の策定作業を 行って問題ございません。
23	オンデマンド交通実証実 験について	運行予定の曜日・時間帯および予約受付時間につ いて、現時点での想定をお聞かせください。例えば、 福井市南東地区フルデマンドタクシーに做うことが 望ましいか。 運行日:月曜日から土曜日(日曜、祝日、12月30日 から1月3日は運休) 運行時間:8時から17時 予約受付時間:8時から16時	現時点では、南東地区フルデマンドタクシーのサー ビス水準程度の運行計画を想定しています。
24	仕様書 4(6) オンデマンド交通の実証 実験について P4	本業務内で実施する実証実験の時期について、想 定されている実施時期及び実施期間等があればご 教示ください。	オンデマンド交通実証実験の実施時期及び実施期 間等に係る回答については、No.8と同様です。
25	仕様書 4(6)② 実証運行車両数について P4	運転業務を担当する交通事業者は決まっているか。 見積りを取得するために、交通事業者の連絡先を教 えていただけるか。	運転業務を担当する交通事業者は決まっておられ ません。また、交通事業者の紹介は行わないため、福井 県バス協会、福井県タクシー協会のホームページを 参考にしてください。 福井県バス協会URL: http://www.fukui-bus.net/kyoukai/ 福井県タクシー協会URL: http://www.taxi-fukui.or.jp/
26	仕様書 4(6)④ 実施内容について P4	「AI、IoT等の最新技術を活用」が前提となっている 意図を教えてください。仕様書4(3)(4)の結果、AIやIoT等の技術活用が不要と判断される場合 も可能性としてあり得ると思いますが、そういった判 断も可能か。	本市の南東地区で導入し、利便性向上につながって いるオンデマンド交通を他地区でも適しているかど うかを検証するために本事業を実施いたします。
27	仕様書 4(6)④(エ) 運行システムの保守・運 用について P5	福井市に納品する車載端末は何台を考えればよろ しいか。また、予備機についても納品が必要であれ ばその台数もお教えください。	車載端末は2台以上、予備機は1台を想定していま す。
28	仕様書 4(6)④(キ) オンデマンド交通実証運 行等事業支援について P5	地域住民を対象とした説明会の想定回数・人数等が あればお教えください。	説明会の回数は最低6回程度想定しています。人数 については現段階での想定はありません。
29	仕様書 4(6)④(ク) 共創プラットフォーム運営 の支援について P5	共創プラットフォーム運営の支援について、「福井市 共創プラットフォーム会議」は既存の会議体か。ま た、会議の開催回数は何回を想定されているか。	「福井市共創プラットフォーム会議」は既存の会議体 ではなく、オンデマンド交通の導入に向けた検討を 行うために設置するものでございます。 会議の開催回数は4回程度を想定しています。
30	仕様書 4(6)⑤ 運行システムの概要につ いて P6	利用者に外国人は想定しているか。その場合、ア プリ上で表示が必要な言語は何か。	利用者に外国人は想定しておりません。
31	仕様書 4(6)⑤(イ)3 運行システムの内容につ いて P6	記載の「即時予約方式」は「予約締切時間(20分前 までに予約等)を設定せず、利用者が乗車したいタ イミングで予約し、配車が可能な場合、予約後即乗 車が可能な方式」の意味で良いか。	貴見のとおりです。
32	仕様書 4(6)⑤(イ)3 運行システムの内容につ いて P6	「交通系ICカードやクレジットカード等のキャッシュ レス決済サービスと連携できる機能を有すること。」 は、「クレジットカード等のキャッシュレス決済サー ビスと連携することにより、アプリ内等の事前決済が可 能であること」の意味で良いか。	事前決済だけでなく、車載器による事後決済も想定 しています。
33	仕様書 4(6)⑤(ウ)2) 車載端末について P7	納品する車載器端末(iOS、Androidのどちらか) で利用できればよいと考えてよいか。	仕様書では、iOS、Androidのどちらでも利用でき ることとしています。

令和7年度福井市未来へつなげるバス路線最適化実証事業業務 公募型プロポーザル 質問及び回答

No	質問項目	質問内容	回答
34	仕様書 4(6)⑤(ウ)2)オ 車載端末について P7	「利用者の属性(一般、高齢者、子ども、障がい者等)に応じて、所定の運賃を表示できるシステムであること。」の意味は、例えば、高齢者運賃が200円の場合で、高齢者1人が予約乗車の場合、車載器端末に「高齢者200円」の表示があり、ドライバーが車載器端末に表示された金額を収受する、意味で良いか。	貴見のとおりです。
35	仕様書 8 一括再委託の禁止について P10	実証実験において、受託した企業(または共同体)以外の交通事業者等に車両の運行・整備等を委託する場合は、一括委託には該当しないという認識でよいか。	ご認識のとおりです。
36	審査基準 業務遂行能力について	業務実施体制にある「専属担当者等」とは、どのような条件を想定されているか。	条件はございませんが、審査委員会の説明者が、契約後も本業務に携わり、企画提案の内容どおり確実に実施できる体制となっているかを審査いたします。